



川崎市議会議員

# 本間 賢次郎 ケンジロウ

市政レポート No. 40 (令和3年2月号)

未来へ働き続ける、想いを「ツナ」ぐ。  
イメージキャラクター：本マグロ ツナジロウ

事務所 〒210-0834 川崎市川崎区大島 3-14-17

TEL044-742-8072

FAX044-211-1081

## ごあいさつ



年明け間もない先月 7 日に二度目となる緊急事態宣言が発出され、翌 8 日から飲食店にはさらなる時短要請がなされました。また、飲食に限らず全面的に不要不急の外出自粛も要請されています。予定では今月 7 日までの期間とされていますが、状況次第では前回同様に延長されます。

本市ではいよいよ令和3年度の予算案の審議を中心とした議会が始まります。コロナ対策、国が進めるデジタル化や脱炭素社会の実現、コロナ収束後の都市づくりについても深く議論し、市民皆様にご理解頂く努力が一層求められますので、引き続き気を引き締めて臨んで参ります。

## 川崎市公式 LINE アカウントによる 新型コロナウイルス感染状況の情報提供開始！

1月12日より、川崎市では公式 LINE アカウントによる新型コロナウイルス感染状況の配信を開始致しました。

昨年末、冬季を迎えて感染者数が増加する中、私は行政に対し、市内・区内の感染状況を広く周知することは危機感を共有することができると指摘し、感染症対策の部署と LINE アカウントを運用する部署と連携し、配信頻度や内容などの調整を行ってまいりました。その結果、区ごとの累計と直近1週間の推移（増加人数・増加率）をまとめ、週に1度配信することとなりました。

市域全体での感染者数は新聞等でも取り上げられていますが、区ごとのデータが報じられる機会は少なく、地元の方々への市政報告の場で各区の感染状況をお伝えすると驚かれることが多々あり、より身近な範囲での感

染状況を知りたいという声は多く寄せられていました。市ウェブサイトや市のシティプロモーションのツイッターでは日ごとに情報提供を行っていますが、情報を手元に届けることができる LINE のシステムを活かし、より確実に情報を周知するとともに、今後も感染拡大防止に向けた意識の共有を図るべく、有意義な情報発信に取り組んで参ります。

スマートフォン等からの「川崎市 LINE 公式アカウント」の友だち登録には右の二次元バーコードをご利用ください。  
(事前に無料の「LINE」アプリのダウンロードが必要です)



当アカウントでは市内イベントや防災等の啓発情報の他、窓口混雑情報なども提供しており、本年3月にはAI等を活用した機能を実装する予定です。

## 全国初！新型コロナウイルスワクチン 接種会場運営訓練を実施！

1月27日、本市と国の共同（協力：ファイザー株式会社）による「新型コロナウイルスワクチン接種会場運営訓練」が川崎市立看護短期大学にて行われました。自治体と国が共同で実施するワクチン接種会場の運営訓練は全国初で、多くの注目を集めました。

被接種者の主な流れは以下のとおり。

- ①入場の際に非接触式での検温と手指消毒。
- ②受付で本人確認と予診票・体温計の受け取り。
- ③体温計での再度の検温と予診票への記入後、内容を確認。
- ④予診室にて医師による体調等の確認と接種の同意確認。
- ⑤接種室にて看護師によるワクチン投与。
- ⑥接種済証の交付を受け、アレルギー等によるアナフィラキシーショックに備え30分間の待機の後、保健師等に確認し帰宅。

今回の訓練の内容が今後、全国各地で始まる集団接種会場の基本的な運営方針となります。スムーズな運営と安心して接種して頂ける丁寧で安全な運営と対応を第一に、担当部署と連携し、接種される方々、医療関係の方々の安全確保に向けて取り組んで参ります。



↑場内レイアウト。右奥が入口・受付。中央奥が予診室。左手が接種室。手前は接種後の待機場所。